

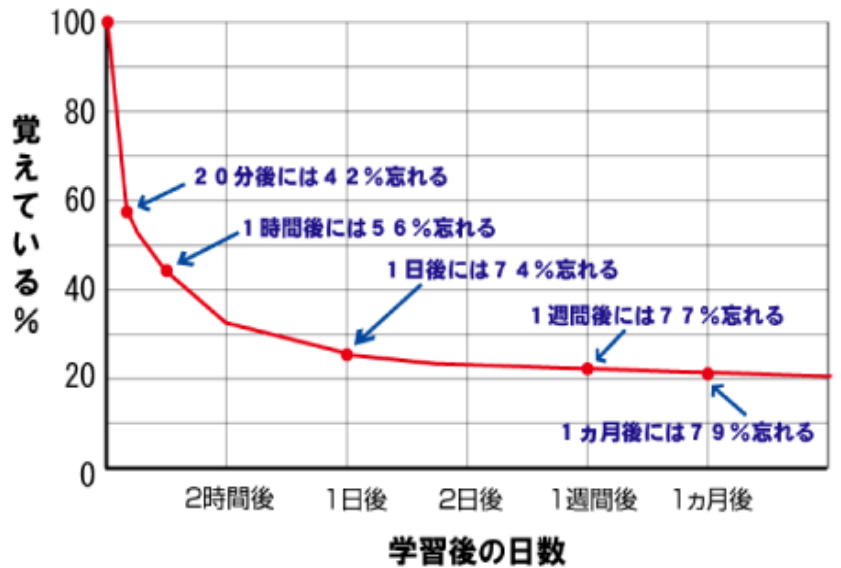
やっくい

多治見市立南姫中学校
 学校報 特別号
 平成27年5月22日

家庭学習の充実、家庭でも学習できる生徒に！

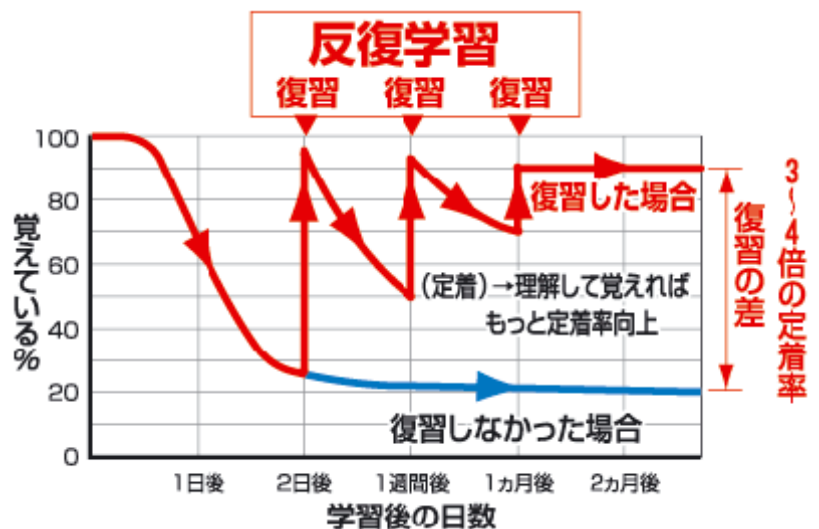
南姫中学校の生徒たちは、落ち着いた雰囲気です。しかし、学力・学習状況調査の質問紙の結果を見ると、家庭でテレビやビデオ・DVD等を見ていることが多く、自宅で学習している時間が短い、という実態がわかってきました。

右のグラフは、『エビングハウスの忘却曲線』といいます。エビングハウスは、記憶の忘却の研究を行ったドイツの心理学者です。このグラフを見ると、人間は学習した直後から忘れ始め、20分後にはすでに42%忘れ、1日経てば74%、およそ4つ覚えたうちの3つは忘れてしまう生き物なのです。「落ち着いて授業に取り組んでいるが、自宅ではあまり学習していない」南姫中の生徒の、学習内容の定着は大丈夫でしょうか。



下のグラフを見てください。自宅で復習すると、覚えていることが復習する度に増え、最終的に3~4倍の定着率になります。

これを受けて、今年度の南姫中は「家庭学習の充実」を学習面の指導の柱のひとつに挙げました。家庭学習の充実を図れば、落ち着いて授業に迎える生徒たちのよさを一層大切にする可以考虑からです。



家庭学習を充実させるために、

① 具体的に家庭での学習の仕方を指導

自宅で行う学習を「つなぎ学習」と「定着学習」の二つに分け、その進め方を示す

② 授業と家庭学習、家庭学習と授業とのつながりを意識した授業を工夫

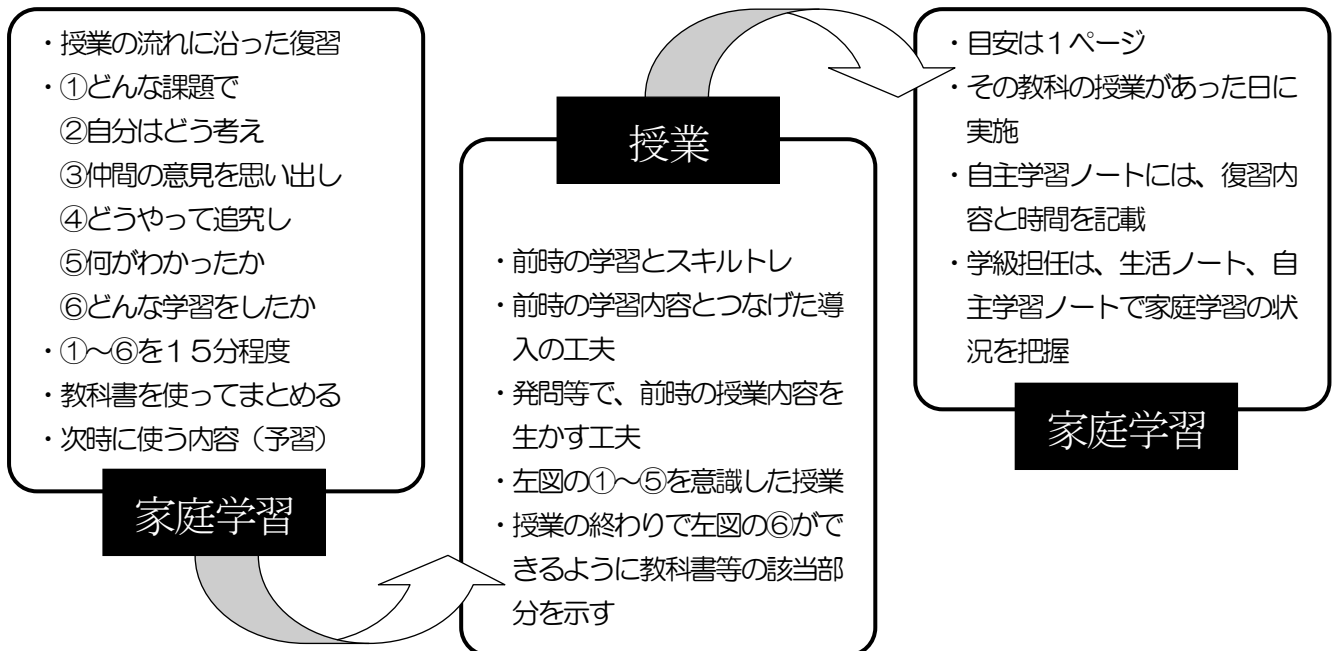
「今日は家でこれを復習するといいな」「家で勉強してよかったなあ」となる部分を授業の中に位置付ける

を各教科で実施していきます。

「つなぎ学習・定着学習」について

★「つなぎ学習」とは

家庭学習→授業→家庭学習 と生徒が学んだことが次の学びに生かされていくようにしていく学習です。復習（予習）を毎時間位置付けます。目安は、1教科10～15分程度です。また、生活の記録を確認して、次の授業の予習も行います。（下図を参照）



★「定着学習」とは

学んだ内容を確実に身につけ、今後も使えるようにしていく学習です。基礎・基本の定着、補充を図っていきます。計算練習、漢字練習、単語練習などのドリル的な内容を行います。他にも、各教科で購入しているワークに何回も取り組む方法もあります。

また、教科によっては、「声に出してすらすらと音読」（国語・英語）、「年表をつくる・白地図にまとめる」（社会科）なども「定着学習」として取り組んでいくとよいです。

※「つなぎ学習」「定着学習」の詳しい内容については、各教科から配布されたプリントを参照してください。

保護者の方も家庭学習充実のために働きかけを！

「今日の授業は何を学習したの？」と声をかけてみてください。今日の授業を思い出して、簡単に学習内容を説明できたら、それは「つなぎ学習」です。人間は、声に出して話すことで、頭の中が整理されて、学習したことがより強く記憶されるものです。

「宿題はないの？」「勉強しなさい！」ではなく、「つなぎ学習はできた？」がよいです。その日に授業のあった教科について「つなぎ学習」はあるはずですから。

教師が生徒の家庭での過ごし方を知るのは「生活の記録」への記載です。その見届けをしていただくと、生徒の取り組み方に応じて声をかけることができます。ご家庭の力も合わせていただいて、確かな学力をつけていきたいと願っています。よろしくお願いします。

